

# 令和7年度 ふくし座談会のまとめ

## 1. テーマ

「住み慣れた地域で安心して暮らすための生活支援や移動支援について  
～先進事例に学び、自分の地域でできることを考えよう～」

## 2. 対象者

区長、民生・児童委員、サロン・老人クラブ・ボランティアグループ・地域協議会等に関わる地域住民、福祉・介護・医療・地域福祉活動に関わる機関（地域包括支援センターや福祉事業所等）、NPO法人、公募市民 など

## 3. 日時

圏域(小学校区)	日付	会場	参加人数
篠岡(陶・篠岡・光ヶ丘・大城・桃ヶ丘)	10月16日(木)	東部市民センター	31名
西部(三ツ淵・村中)	10月23日(木)	西部コミュニティセンター	40名
北里(小木・北里)			
南部(米野・小牧南)	10月29日(水)	ふれあいセンター	42名
中部(小牧・小牧原)			
味岡(一色・味岡・本庄)	10月30日(木)	味岡市民センター	30名
合計			143名

## 4. 内容

### (1) 事例紹介 先進地の生活支援や移動支援の取り組みについて

講師：特定非営利活動法人 全国移動サービスネットワーク

事務局長 伊藤みどり氏

- ・ 住民主体の移動支援のしくみと事例、費用のやりくり、立上げのプロセスと事故への備えについての講義を実施。

### (2) グループワーク

- ・ 参加者が小学校区ごとに分かれ、近所の高齢者が「移動の問題」で困っていることや、困りごとを解決するためにできたらよい取り組みについてグループワークを実施。

## 5. グループワークでの主な意見

### (1) 近所の高齢者が「移動の問題」で困っていること

- ・ 買い物、通院、サロン、銀行等に行けない。
- ・ ゴミ出しに行くことができない。
- ・ 重い荷物が運べない。

- ・ 会館の2階へ上がることが難しい。
- ・ 免許返納後の買い物等を考えると返納できない。
- ・ 歩行器を使用しているため、バスに乗るのが大変。
- ・ 移動距離が近すぎるため、タクシーが利用しづらい。タクシーを呼んでも来ない。 など

## (2) 上記を解決するために、できたらよい取組み

### 【ボランティア関係】

- ・ ご近所のつながりを大事にし、困っている方がちょっとした頼みごと（ゴミ出し等）ができるとうい。
- ・ 移送等の有償ボランティアのマッチング。
- ・ 運転・送迎ボランティアの養成。
- ・ 学生ボランティアの募集。
- ・ 近距離移動であれば、車いすでのボランティアによる移動支援。
- ・ 車の運転は無理だが、添乗員としてのお手伝いならできる。
- ・ バスの乗降を手伝うボランティアの養成。

### 【サロン・自治会関係】

- ・ サロン等を活用した近所で助け合う仕組みづくり。
- ・ サロン開催に合わせて小地域を回るバスやタクシーがあるとよい。
- ・ 自治会で車両を用意して、サロンや買い物の送迎を行えるとよい。

### 【企業や病院等関係】

- ・ 企業や介護事業所等に移動支援（車両貸出・運転手の協力）をお願いできるとよい。
- ・ 病院による送迎サービスの充実。

### 【市域全体の仕組み関係】

- ・ 社会資源として利用できるサービスの共有と利用方法の周知。
- ・ 安心して運転ボランティア活動ができる仕組みづくり（保険、ガソリン代等）。
- ・ ライドシェアの整備。
- ・ 巡回バスのバス停の見直し。

### 【その他】

- ・ 生協やネットスーパーの利用ができるとよい。
- ・ 買い物ツアーの企画。 など

## 6. 今後について

- ・ 上記の意見について、地域支え合い推進員を中心に、現状の把握や課題の整理を行い、地域の方などと協働し、実施できるものについて検討や調整を行う。
- ・ 市全域で取組むべきものについて、市と地域支え合い推進員を中心に検討を行う。